

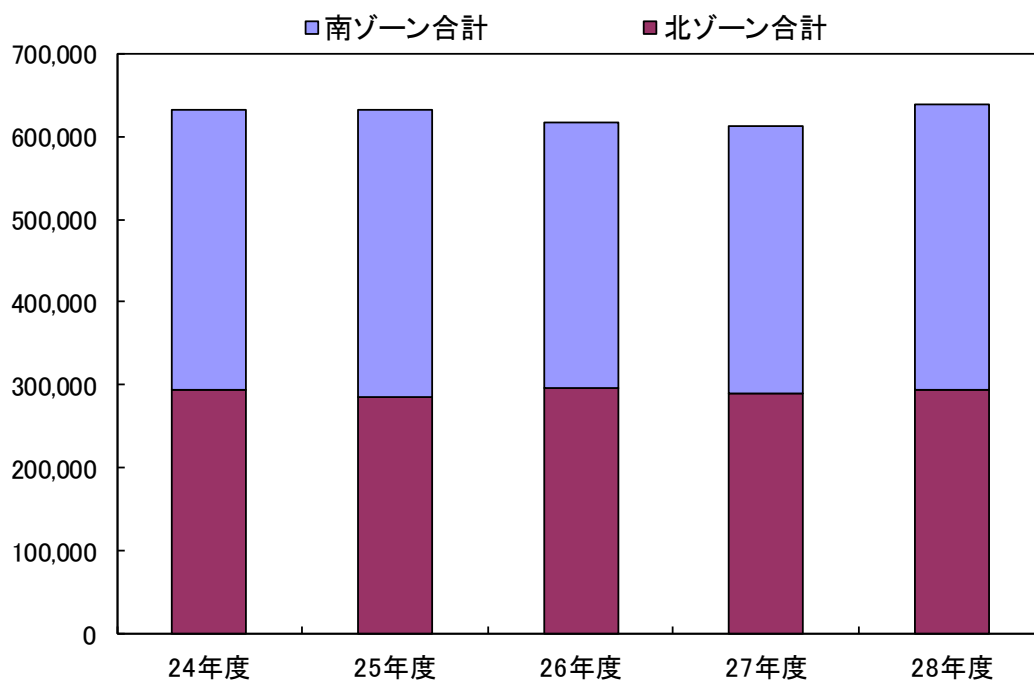
公1、収1「公園施設等の管理運営事業（貸館事業）」

利用者数

平成28年度、宗像ユリックス総合公園の総利用者数は、638,099人（前年度比104.1%）となり、前年度と比較して24,974人の増加であった。内訳は以下のとおりである。

北側施設（北ゾーン）は、一般施設238,704人（同100.8%）、プラネタリウム32,225人（同114.3%）、テニスコート21,372人（同96.7%）となり、北ゾーン全体では293,833人（同101.6%）と4,641人の増加となった。主な要因はプラネタリウムで、夏休み期間の真夏日の増加による屋内レジャーニーズの増加の影響と思われる。

一方、南側施設（南ゾーン）では、アクアドーム利用者数は203,418人（同102.6%）、パットゴルフ4,157人（同88.0%）、ゆ〜ゆ〜プール68,089人（同135.1%）、芝生広場等67,801人（同96.6%）となり、南ゾーン全体では344,266人（同106.4%）と24,974人の増加となった。主な要因はゆ〜ゆ〜プールが好天に恵まれ、利用者が増加したことである。



	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	(単位: 人)				
本館(図書館を除く)	269,020	264,383	272,869	265,476	271,205
テニスコート	23,417	20,875	22,431	22,107	21,372
プラネ(野外)	1,473	944	1,610	1,609	1,256
北ゾーン合計	293,910	286,202	296,910	289,192	293,833
アクアドーム	203,798	201,712	200,266	198,181	204,219
パットゴルフ	5,487	4,738	5,062	4,724	4,157
ゆ〜ゆ〜プール	54,772	55,477	41,430	50,405	68,089
芝生広場等	74,395	85,259	72,458	70,175	67,801
南ゾーン合計	338,452	347,186	319,216	323,485	344,266
利用者数合計	632,362	633,388	616,126	612,677	638,099
対前年比	100.9%	100.2%	97.3%	99.4%	104.1%
図書館	278,006	254,387	235,496	230,683	220,915
利用者数合計(図書館を含む)	910,368	887,775	851,622	843,360	859,014

施設の利用率¹

■ 3大施設の利用率

ユリックス本館の施設利用率についてみると、3大施設（イベントホール、ハーモニーホール、展示室）については、右表のようになっている。

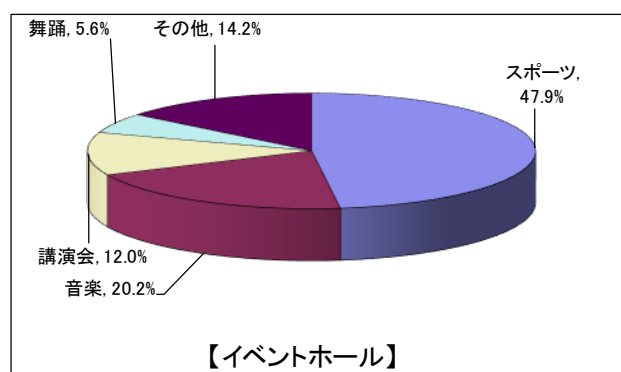
	27年度	28年度	前年度比
イベントホール	64.0%	82.8%	+ 18.8%
ハーモニーホール	74.2%	76.6%	+ 2.4%
展示室	71.5%	70.5%	- 1.0%

施設利用の内容

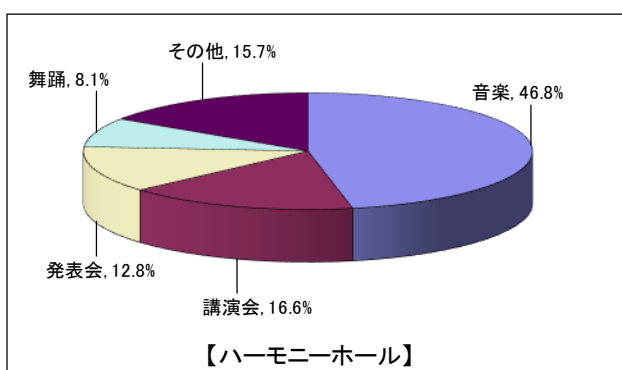
本館3大施設の利用内容別に集計すると次のとおりとなる。

イベントホールは、総件数が267件で前年度に比べ80件増加した。

利用内訳は、スポーツ 47.9%、音楽 20.2%、講演会 12.0%、舞踊 5.6%、その他 14.2%となっている。前年度と比較して、スポーツ、音楽、講演会など全体的に増加しており、特にスポーツでの利用が53件増加している。



イベントホール	スポーツ	音楽	講演会	舞踊	その他	計
利用件数	128	54	32	15	38	267
利用割合	47.9%	20.2%	12.0%	5.6%	14.2%	100.0%



ハーモニーホールは、総件数235件で前年度に比べ16件増加した。

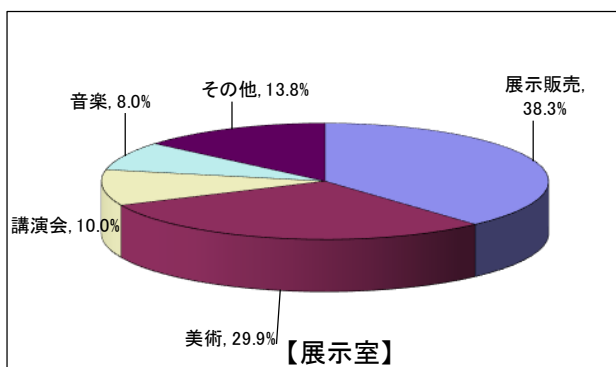
利用内訳は音楽 46.8%、講演会 16.6%、発表会 12.8%、舞踊 8.1%、その他 15.7%となっている。

前年度と比較して、音楽、講演会、発表会での利用が増加しているが、舞踊での利用が減少している。

ハーモニーホール	音楽	講演会	発表会	舞踊	その他	計
利用件数	110	39	30	19	37	235
利用割合	46.8%	16.6%	12.8%	8.1%	15.7%	100.0%

¹ 利用率は、開館日のうち貸出3区分（午前：9時～12時、午後：13時～17時、夜間：18時～22時）のいずれかに利用が入っている場合を100%として算出。

展示室は、利用件数が 261 件で前年度に比べ 7 件減少した。利用内訳は展示・販売 38.3%、美術 29.9%、講演会 10.0%、音楽 8.0%、その他 13.8%となっている。前年度と比較して展示・販売、音楽での利用が増加し、美術、講演会での利用が減少した。



展示室	展示販売	美術	講演会	音楽	その他	計
利用件数	100	78	26	21	36	261
利用割合	38.3%	29.9%	10.0%	8.0%	13.8%	100.0%

その他、会議室、和室等の貸出施設については、本館内に事務所を持つ宗像文化サークルの講座に多く利用されたほか、企業の面接会場、会議、研修や自主サークル団体の活動の場として利用された。

その他の取り組み・施策

顧客のニーズに対応するための「夜間有料学習室」、舞台の空き区分を活用した「舞台上で気軽にピアノレッスン」などのサービスアップに取り組んでいる。

●夜間有料学習室

個人の勉強の場として、17:30 から 21:30 の時間帯で、1 席 100 円（7 月から 9 月、12 月から 3 月は空調代を含んで 200 円）で貸し出した。年間利用者数は 1,728 人で、前年度と比較して 14 人減少した。売上は 267 千円となった。

<月別利用者数>

(単位：人)

月度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
利用者数	92	140	209	232	161	137
月度	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用者数	185	162	77	125	138	70

●舞台上で気軽にピアノレッスン

ハーモニーホールの舞台上でコンサートピアノを使った練習が 1 時間 3,000 円という料金でできるという企画である。平成 28 年度は年間 15 日間、165 利用枠に対し 130 利用枠の実績である。利用率が 78.8%(前年 89.5%)と前年度に引き続き高い利用率を維持した。ピアノ教室の講師などのプロピアニストから、趣味としての愛好家まで幅広い層に支持されており、利用者の定着のためのメルマガ配信も行なっている。

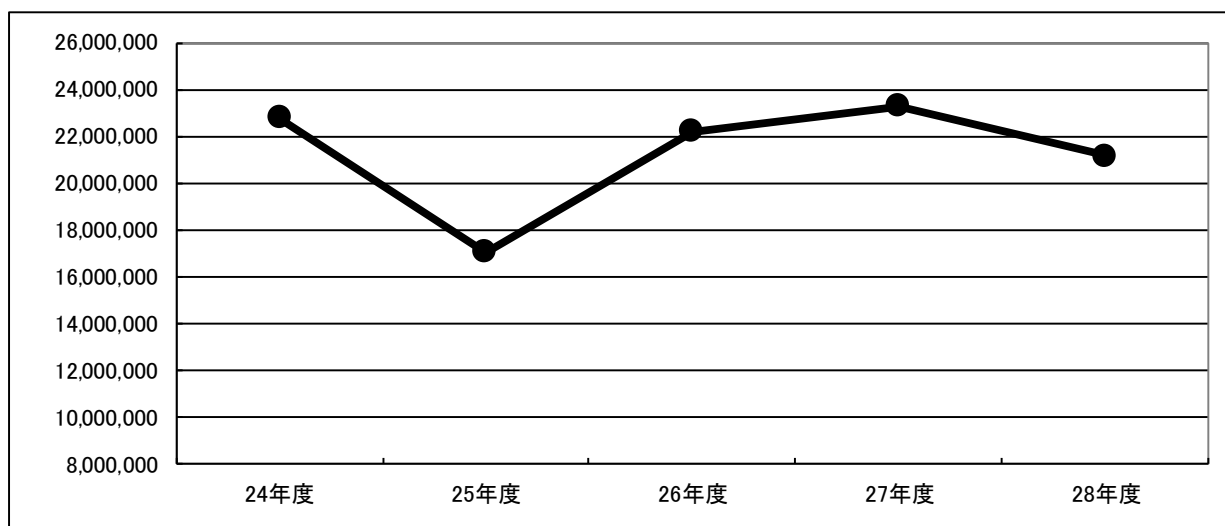
公 1、収 1「公園施設等の管理運営事業（施設管理）」

施設管理

宗像ユリックス開館 28 年目となり、施設や設備の老朽化に伴う修繕が増えてきている。このため、緊急性や安全性などを考慮して修繕を行った。市の保全工事については、レストランの改修と南ゾーンのサーキットトレーニングコースの改修に関する調整を進め、無事完了できた。平成 28 年度も利用者が安全、快適に施設を利用できるように施設管理に努めた。

安全対策として防災訓練を 9 月と 3 月に実施した。初期消火設備の確認や避難誘導訓練、AED を使った救急救命講習を実施するとともに、3 月には避難訓練落語会を実施し、実際公演会を実施するなかで、実際に非常ベルを鳴らしてお客様を避難誘導するという訓練を実施した。

[修繕状況]



修繕状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
修繕発生件数(件)	105	92	101	122	94
対前年度比	100.0%	87.6%	109.8%	120.8%	77.0%
対24年度比	100.0%	87.6%	96.2%	116.2%	89.5%
修繕コスト(円)	22,768,586	17,056,927	22,218,978	23,279,194	21,168,934
対前年度比	100.0%	74.9%	130.3%	104.8%	90.9%
対24年度比	100.0%	74.9%	97.6%	102.2%	93.0%

[主な改修・修繕（財団実施）]

1	ハーモニーホール舞台スクリーンカーテン取替工事
2	イベントホール「アフロアヒジ」修繕工事
3	中央ビル監視装置修繕工事
4	既存倉庫基礎嵩上げ工事
5	パットゴルフコース人工芝張替工事
6	アクトーム空冷装置修繕工事

[保全改修事業（宗像市実施）]

1	レストラン改修工事
2	サーキットトレーニングコース改修工事
3	両ホール改修工事設計

収 2 「利用者サービス事業」

取り組み・施策

この事業は、公園内に設置している自動販売機による飲食物販売やアクアドーム、ゆ〜ゆ〜プールでの物品販売及び飲食物販売、イベント時の物品販売、受付での消耗品販売など施設利用者の利便性に資するために行っている。

●自動販売機設置事業

利用者に飲食物の便宜を供するために自動販売機を設置しており、15～35%を手数料としている。平成 28 年度は 5,464 千円の手数料収入を得ており、今後も手数料率の見直しや販売機の増設などサービスの向上に努めていく。

●物品等販売事業

施設利用者に便宜を供するために雨傘や書籍、切手、宗像市指定ごみ袋、財団主催以外のチケット等の販売事業やお弁当・花の手配代行を行っており、平成 28 年度は 1,399 千円の販売・手数料収入を得た。

今後も顧客のニーズに対応するために新しいサービスを模索していく。

公2「文化芸術振興事業（文化事業）」

文化事業／総括

平成28年度主催事業として、古典芸能2、クラシック11、音楽12、演劇2、映画15、美術2、アウトリーチ96、ワークショップ39、その他事業7、合計186事業を実施した。

今年度で4回目の開催となる「宗像ミアール音楽祭」は、9月24日・25日の2日間で開催した。音楽祭を開催する事で、地域の人々の参加と共感を得ることにより、「新しい広場」としての役割を果たすとともに、文化芸術の担い手となる人材の養成と交流による市民文化活動の活性化にも寄与したと考える。入場者数はプレ事業・アウトリーチ事業を含めると、22,668人（前年26,004人）となり、約3,000人の減少となった。次年度の音楽祭では、事業内容や広報の見直しを行い、より多くの市民の参加を得たい。

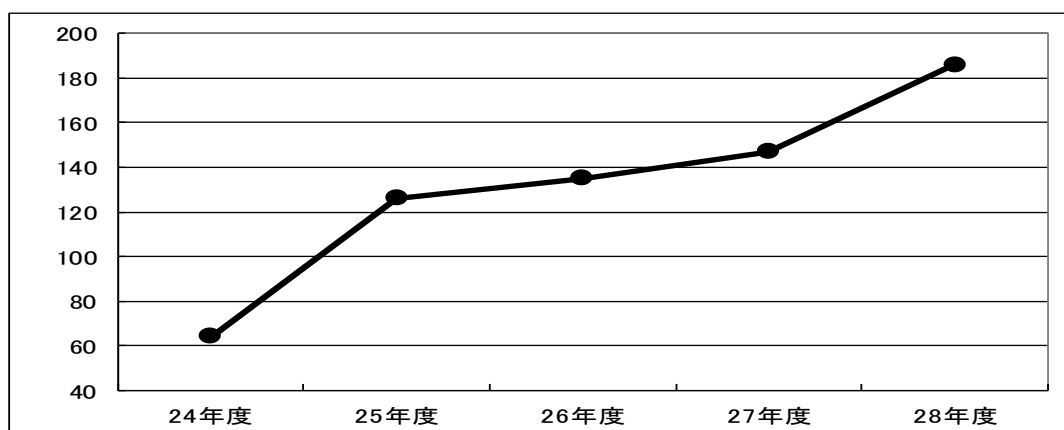
また、新たな取り組みとして中学校吹奏楽部にスポットをあてた事業をスタートした。吹奏楽を地域の貴重な文化資源としてとらえ、連携協力関係にある九州管楽合奏団の演奏者8名を市内中学校の吹奏楽部に派遣し、奏法指導と合奏指導を行った。この活動に加えて、吹奏楽コンクール課題曲を演奏するコンサートや市内中学校全校でのアウトリーチ事業にも着手した。

そして、宗像ユリックスが現在取り組んでいる「いきいき出前コンサート」など、音楽を通じた文化活動が評価され、(一財)地域創造の地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞することができた。

[事業本数・ジャンル別]

(単位：本)

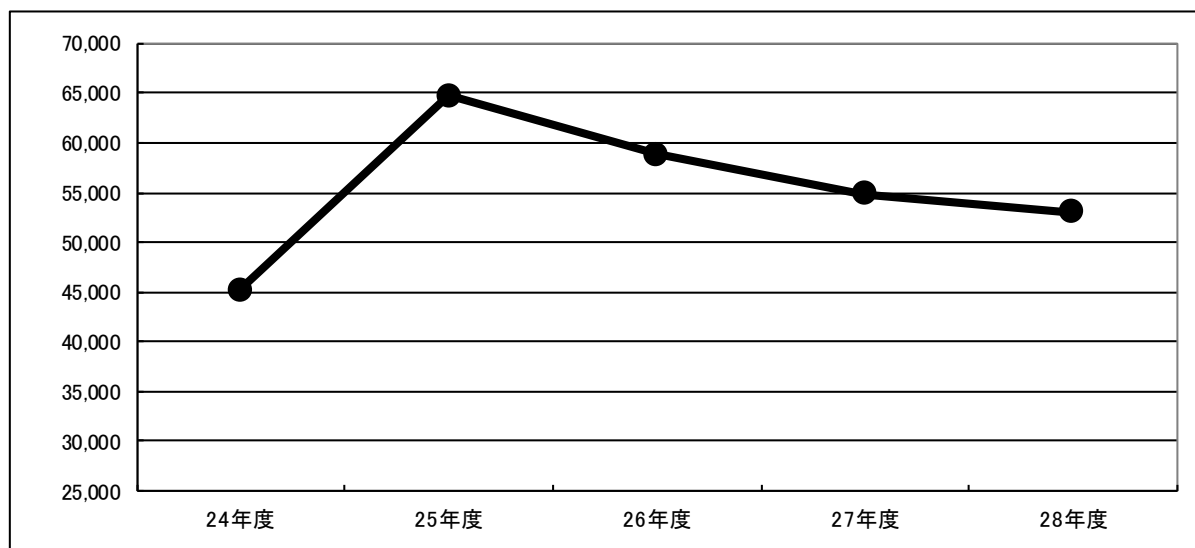
事業ジャンル	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
音楽(クラシック)	10	9	10	11	11
音楽(クラシック以外)	6	7	8	7	12
映画	13	16	14	12	15
演劇・古典芸能	8	8	6	6	4
美術	4	3	2	3	2
アウトリーチ	15	71	86	96	96
その他	11	12	9	12	46
合計	67	126	135	147	186
対前年比		88.2%	188.1%	107.1%	108.9%



[入場者数]

(単位：人)

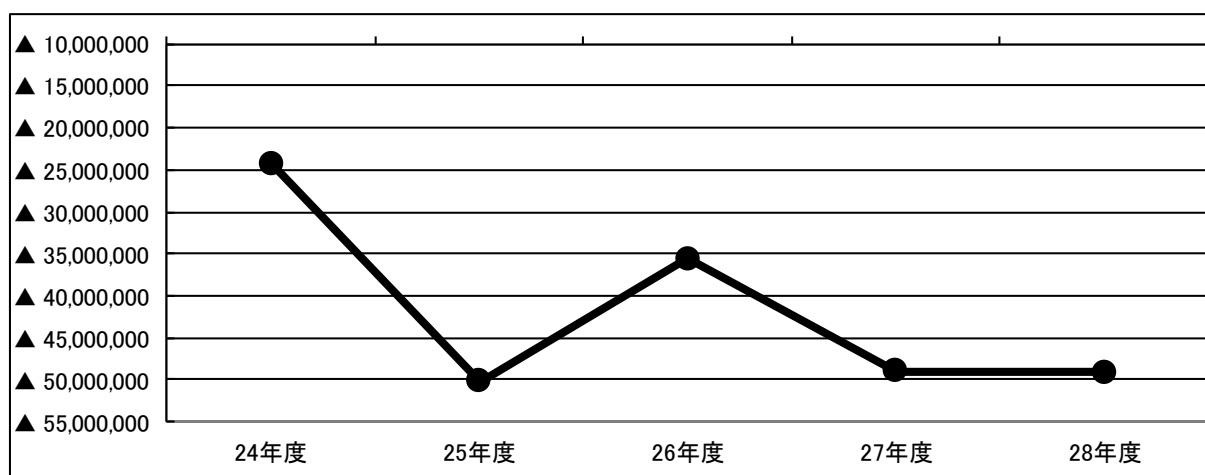
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
入場者数	45,206	64,700	58,788	54,798	53,024
対前年比	83.5%	143.1%	90.9%	93.2%	96.8%
対24年度比	100.0%	143.1%	130.0%	121.2%	117.3%



[収支状況]

(単位：円)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
収入	39,787,520	83,313,635	60,136,440	55,783,916	56,860,092
支出	64,062,541	133,567,428	95,722,796	104,853,665	106,085,930
収支差額	▲ 24,275,021	▲ 50,253,793	▲ 35,586,356	▲ 49,069,749	▲ 49,225,838



※収入：文化事業費収入—文化事業共通収入—チケット発送手数料収入

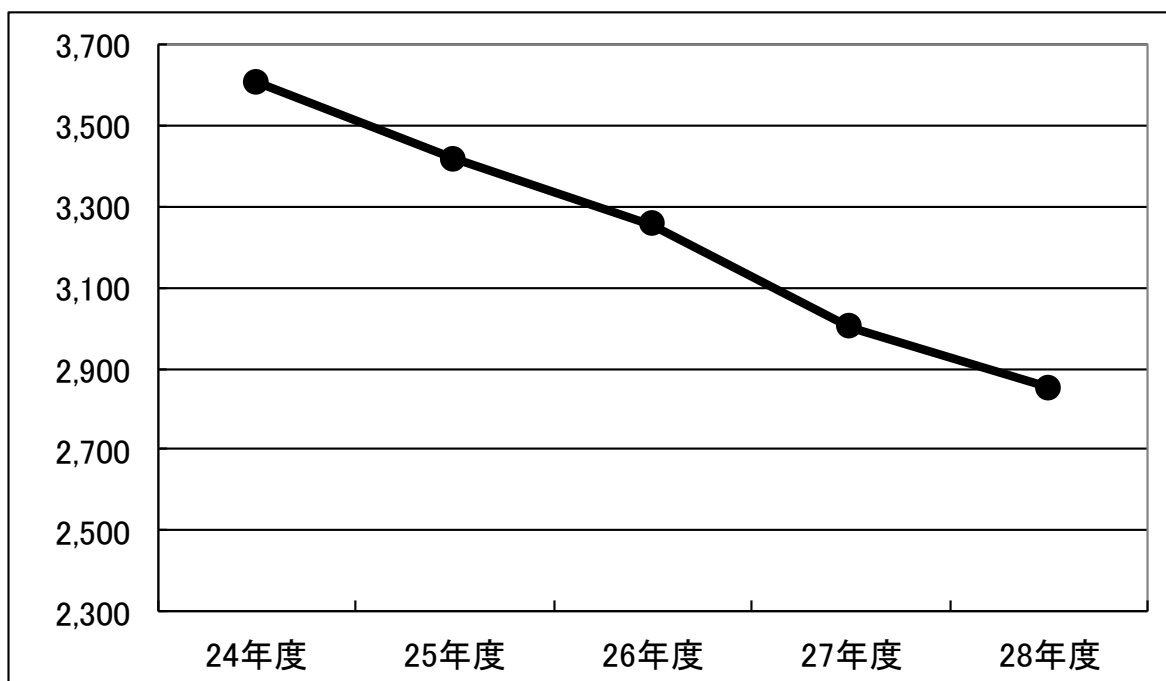
支出：文化事業費支出—給与手当支出—賃金支出(当日アルバイト除く)—文化事業共通支出

[ユリックス倶楽部（友の会）事業]

平成 27 年度からは「ユリックス スマイルクラブ」と名称を改め、特典の見直しも行い、会員の皆様にとってより利便性の高い会員制度をスタートさせた。更新初年度の 27 年度は、3,001 人の入会者で、28 年度は 2,852 人となった。

(単位：人)

	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
会員数	3,609	3,417	3,257	3,001	2,852
対前年比	114.9%	94.7%	95.3%	92.1%	95.0%
対前年人数	469	▲ 192	▲ 160	▲ 256	▲ 149



[ユリックス倶楽部入会特典について]

●ユリックス倶楽部特典 □年会費 500 円

☆ユリックス主催事業のチケット料金が 10%引き

☆チケット購入金額 100 円ごとに 5 ポイント付与

☆入会時 500 ポイント進呈

☆ユリックス名画シアター1 作品がいつでも会員料金 700 円

※ユリックス名画シアターのチケットには特典の〈10%引き〉と〈ポイント付与とそのご利用〉ができません。

☆託児サービスが無料 ほか

主催事業・ジャンル別

(1) 宗像ミアーレ音楽祭～響きわたれ！おんがくの風～

9月24日(土)～25日(日)の2日間で下記事業を開催。

事業名称	出演者	入場者数
【プレイベント】 九管ポップスファミリーコンサート	九州管楽合奏団	1,305人
【プレイベント】 ジャジャジャーンで始まる！ わくわく・ドキドキ♥オーケストラ体験	指揮とお話：松村秀明 管弦楽：九州交響楽団	707人
九響と散策する名曲の小径 プロムナード1 プロムナード2	指揮：飯森範親 ピアノ：横山幸雄	780人
福岡教育大学学生と市民合唱団による コンサート	合唱指導：重住千寿香 福岡教育大学音楽専攻学生 ミアーレ・ジュニア合唱団	415人
吹奏楽部学生300人コンサート スペシャルゲスト：ブラックボトムブラスバンド	市内中学高校の吹奏楽部学生 ブラックボトムブラスバンド	1,006人
ミアーレキッズプログラム	劇団アフリカ 1公演 アルケミスト 1公演	109人
市民ステージ（トワイライトビアライブ含む）	43団体	2,378人
楽器体験		3,523人
いきいき出前コンサート 市内各所96ヶ所で開催	・九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏 ・九州管楽合奏団メンバーによる金管五重奏 ・白石光隆（ピアノ）他	13,777人
入場者数合計		22,668人

【事業の成果】

- ・生演奏に触れる機会を通じた広く市民への音楽文化の浸透
- ・継続的な文化芸術活動による鑑賞機会の確保とそれを支える仕組みづくり
- ・人材の養成と交流による市民文化活動の活性化

【運営体制】

「宗像ミアーレ音楽祭 2016～響きわたれ！おんがくの風」実行委員会を組織し、下記8部会を設置し運営を行った。（平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業「活動別支援」補助事業）

- ・ホールイベント部会
- ・アウトリーチ部会
- ・ミアーレ合唱部会
- ・市民ステージ部会
- ・楽器体験部会
- ・野外イベント部会
- ・すくすくコンサート部会
- ・出店部会

九響と散策する名曲の小径



指揮：飯森範親
ピアノ：横山幸雄
管弦楽：九州交響楽団
音楽監督：今村晃

2日2公演

東京楽所



【 宗像ミアーレ音楽祭 2016 画像 】

ジュニア・ミアーレ合唱団



ミアーレキッズプログラム



吹奏楽部学生 300 人コンサート・・・市内中学校全校参加



市民ステージ(ホワイエ)



楽器体験 ～上手くひけるかな～



(1) クラシック事業

『荘村清志ギターリサイタル』、『モスクワ・ソロイスツ&三船優子』、『スーク室内オーケストラ & 松田里奈』など 11 事業を実施した。

『モスクワ・ソロイスツ&三船優子』公演では、公演に先駆けて三船優子によるコミュニティ・センターでの子供向けアウトリーチ事業と音楽講座を開催した。

(2) 音楽事業（クラシック以外）

『清水ミチコトーク&ライブ』、『精華女子高等学校吹奏楽部』、『音楽の絵本 大編成吹奏楽』など 7 事業を実施した。

『精華女子高等学校吹奏楽部』公演は、3年連続の完売となった。また、毎年好評の『音楽の絵本』公演は、文化庁劇場・音楽堂等活性化事業の助成を受け、32名編成の大編成吹奏楽による公演が実現し、1,440人の入場者数となった。



(3) 九州管楽合奏団

『九管ポップスファミリーコンサート』、『小学4年生芸術鑑賞モデル事業』のホール公演や幼稚園・保育所でのアウトリーチ事業に加え、九州管楽合奏団のメンバーが市内中学校吹奏楽部に出向き奏法指導と合奏指導を行った。

(4) ユリックス ジュニアブラス

宗像市内小学生を対象として団員を募集し、26年4月に団員14名でスタートした『ユリックスジュニアブラス』は、九州管楽合奏団のチューバ奏者・丸田友博氏の指導のもと、ステージでの披露を目指して、毎週火曜日を定例練習日として、熱心な練習を行った。

宗像ミアーレ音楽祭の開会式やむなかた吹奏楽祭など、市の主要イベントで演奏を披露し、市民の皆様から温かい激励の拍手をいただいた。また、女子駅伝の全国大会プリンセス駅伝ではファンファーレを演奏し、その様子が全国放映された。

団員数は平成29年3月現在31名(卒団予定者8名)となり、今後のより一層の活躍が期待される。

(5) いきいき出前コンサート

「ホールで生の音楽を聴きたいけど、なかなか足を運ぶことができない。」そんな方々へ、プロの演奏家が「その場所」まで出向き、「生の演奏」をお届けし、プロの演奏家による本物の音を通して、「生きる喜び」や「感動する心」、「豊かな感受性」を育むことを目的としている。

本年度は、市内中学校全校でのアウトリーチ事業をスタートさせるなど年間を通して市内各所 96カ所で、いきいき出前コンサートを実施した。

【主な編成】

- ・九州管楽合奏団メンバーによるアンサンブル
- ・九州交響楽団メンバーによる弦楽五重奏
- ・ピアノ&サクソフォン(二羽正行・松木陽介)
- ・白石光隆(ピアノ)
- ・岩崎雅子 (マリンバ) &
村岡慈子 (パーカッション) ほか

中学校での BBBB によるアウトリーチ



すくすくコンサート



九州交響楽団弦楽四重奏+フルート



白石光隆 ～ピアノ解体ショー～



九州管楽合奏団木管四重奏+打楽器



(7) スマイルキッズプログラム

国民生活基礎調査によると、子どもの貧困率は16.3%と過去最悪を更新している。子ども6人に1人は貧困層に属し、じわじわと増え続けているという社会環境があり、宗像市も平成24年度に「子ども基本条例」を制定している。それを受けて、宗像ユリックスは子どもに優しいまちづくりに向けてアウトリーチ・ワークショップ・ホールコンサートなどの子ども向け事業を体系的に組み立て、公共ホールの使命を果たすべく、以下の事業を実施した。

〈 平成28年度実施事業 〉

	乳幼児 (0～5歳)	小学校	中学校
アウトリーチ	すくすくコンサート 市内幼稚園・保育所でのアウトリーチ (九管木管四重奏+打楽器)	市内小学校全校でのアウトリーチ (九響弦楽五重奏ほか)	BBBBによるアウトリーチ

鑑賞型事業	九管ポップスファミリーコンサート 音楽の絵本	わくわく・ドキドキオーケストラ 小4芸術鑑賞モデル事業	課題曲コンサート
-------	---------------------------	--------------------------------	----------

【28年度新規取り組み】・・・SO-ONプロジェクト 〈 助成：(一財)地域創造 〉

中学校の吹奏楽部の活動は、地域の貴重な文化資源であるという認識から、各中学校の吹奏楽部を対象とした事業に着手した。市内6校の吹奏楽部に九州管楽合奏団の演奏者(楽器別に8人)を夏季と冬季の年2回派遣し、奏法指導と合奏指導を行った。加えて、中学校を対象とした「いきいき出前コンサート」、「クリニックコンサート」も新たにスタートした。

本事業は3ヵ年計画で取り組み、改善を加えながら事業を発展させることで、吹奏楽部活動を活性化させ、より多くの人々を感動させる吹奏楽部へと導いていく。

吹奏楽部での合奏指導



BBBBによる中学校でのアウトリーチ



(7) 映画事業

15 作品を上映し、総入場者数 5,274 人となった。1 作品当たりの入場者数は 352 人で前年に対し、22 人の減となった。27 年度の会員制度変更に伴い、入場料の見直しを行ったことが減少要因であると考えられる。当面は、積極的な広報で平均入場者数 500 人を目指していく。

(8) 演劇・ミュージカル事業

『ブルガリアカザンラック民族舞踊団』、『劇団飛行船 ピーターパン』の 2 本の事業を実施した。

(9) 古典芸能

『ゆりっくす日曜百円寄席』、『花形狂言』の 2 事業を実施した。『ゆりっくす日曜百円寄席』は年間(11 回)を通して完売となった。また、『花形狂言』は、文化庁劇場・音楽堂活性化事業(連携事業)は兵庫県立芸術文化センターの企画に連携して実施した。公演内容も洗練された内容であり 448 人の入場者数となった

(10) 美術事業

美術事業は、「県展宗像ブロック展」、「大きなクスの木の下で美術館展」の 2 事業を開催した。



(11) 宗像市との連携事業

「宗像市文化芸術のまちづくり 10 年ビジョン」の具体的な取り組みとして、「小学 4 年生芸術鑑賞モデル事業」を行った。これは小学生に本物の文化芸術を鑑賞する機会を提供するものである。九州管楽合奏団の団員が各学校を事前に訪問し、マナー等をレクチャーするなどの工夫を行った結果、非常に高い評価を受け、次年度の開催も決定。



PR事業

■ユリックス・サラダ

情報誌『ユリックス・サラダ』の発行部数は、71,250部（宗像市広報 33,300部 福津市広報 21,400部 宮若市 12,400部 その他 4,150部）。宗像地区への全戸配布のほか、宗像地区以外のユリックス倶楽部会員、マスコミ各社、近隣文化施設などに送付した。

■マスメディアの活用

主催事業の中で事業効率を上げるために必要と思われるイベントについては、TV局ラジオ局に名義共催を依頼し、スポットCMを流すなど販売促進につなげるようした。

また、新聞広告、情報専門誌などに各公演の発売前に「プレス資料」を作成し、掲載を依頼するなど、活字媒体を有効に利用し、積極的に情報発信を行った。

■ポスター・チラシなど

ユリックス催し物の内容や開催時期をお知らせするポスター・チラシは、プレイガイドや近隣の文化施設に適宜配布し、主催事業のPRを行った。また、チラシの配布については、主催事業はもちろんのこと、ユリックスでの貸館公演の際にパンフレットに折込みを依頼した。

■ホームページ

公演情報や募集案内など、ユリックスの様々な情報をホームページに掲載し、適宜更新した。常に、各施設の案内から利用料金、主催事業や貸館でのイベント情報、当館までの交通アクセスなど、さまざまな情報を掲載して、お客様の利便性向上に努めている。

平成28年度宗像ユリックス主催事業一覧

NO	月日	事業名	ジャンル	会場	主な 入場料金	入場者	収支差額 (円)	内容
1	毎月1回	ゆりっくす日曜百円寄席	古典	大和室	100円	1,556人	△ 296,988	日本の芸能である落語を定期的にお届けする。併せて、地域の落語家の皆様に定期的に発表の場を設け、地域文化の振興を図る。今回で99回目。完売。
2	4/26	バグパイプ世界チャンピオン &世界二大ピアノ弾き比べ	音楽	ハーモニー	500円	500人	△ 322,602	世界チャンピオンのバグパイプバンドがユリックスに初登場。いきいき出前コンサートでも馴染みのレガールとの共演が実現した。
3	5/5	ピアニスト・山本亜希子の 親子コンサート	音楽	展示室	600円	104人	-	宗像市出身、パリに拠点を置くピアニスト・山本亜希子による親子向けコンサートが実現。世界で活躍する技量と音色で魅了した。完売。
4	5/14	Cross Over ~白石光隆×Black Bottom Brass Band~ 〈文化庁劇場・音楽堂等活性化事業〉	音楽	ハーモニー	2,000円	174人	△ 1,154,038	宗像に本物の音を届け続ける2組のアーティストの初共演が実現。軽妙なトークと表情豊かな演奏で魅了した。
5	6/4	荘村清志ギターコンサート ~マルク・グローウェルス&フラメンコダ ンサーを迎えて~	音楽	ハーモニー	4,000円	213人	△ 1,321,847	日本ギター界の第一人者・荘村清志による3年ぶりのユリックス公演。フルート奏者のマルク・グローウェルスとスペイン舞踏家・小松原庸子を迎え、豪華な共演を果たした。
6	6/5	モスクワ・ソリスト&三船優子 〈文化庁劇場・音楽堂等活性化事業〉	音楽	ハーモニー	4,000円	229人	△ 2,345,760	国内外で幅広い活動をし注目を集めるピアニスト・三船優子と、究極の名手たちによるトップクラスの室内オーケストラとの共演。
7	7/2	清水ミチコ トーク&ライブ2016	音楽	ハーモニー	4,500円	562人	△ 227,987	テレビでおなじみ「国民の叔母」清水ミチコ待望の宗像公演。モノマネと楽しいトークを交えながらのピアノの弾き語りで大爆笑させた。完成度の高いモノマネで客席を圧倒するピアノ芸を披露した。完売。
8	7/16	劇団飛行船マスクプレイ ミュージカル「ピーターパン」	演劇	ハーモニー	2,500円	643人	△ 690,590	世界中で愛されているピーターパンの物語を、まばゆいイルミネーションや目をみはるイリュージョンを駆使して演劇化。子どもから大人まで楽しめる内容となった。朝の部・昼の部2回公演。
9	7/24	ジャジャジャーンで始まる！わくわく ドキドキオーケストラ体験！ !VOL.3 〈文化庁劇場・音楽堂等活性化事業〉	音楽	ハーモニー	1,000円	707人	△ 2,560,791	子どもから大人まで楽しめる、体験型のコンサート。普段見聴きできないオーケストラの魅力がたくさんつまった75分。指揮者・楽器体験コーナーのほか、当日はキッズスタッフがお客様をお迎えした。午前・午後2回公演。
10	7/31	砂と音楽の物語 ~サンドアート&マリンバコンサート~	音楽	ハーモニー	1,000円	602人	△ 385,205	砂絵が次々と展開する「サンドアートパフォーマンス」。明るく包み込むような音色のマリンバ。2つのパフォーマンスが作り出す幻想的なコンサートが実現。完売。
11	8/27	九管ポップスファミリーコンサート 〈文化庁劇場・音楽堂等活性化事業〉	音楽	ハーモニー	1,000円	1,305人	△ 1,134,068	ゲストに歌の中村萌子、ダンスのいとうまゆを迎え、子どもたちに大人気のディズニー・プリンセス・メドレーや妖怪体操を演奏。午前・午後2回公演。完売。
12	9/22	ブルガリアカザンラック民族舞踊団	演劇	ハーモニー	2,000円	620人	△ 94,402	第13回目のカザンラック民族舞踊団宗像ユリックス公演。太鼓踊りなどの新しい演出と色鮮やかな民族衣装で会場を鮮やかに彩った。バラの女王の来場や、ブルガリア物産展の同時開催も会場を盛り上げた。グローバルアリーナの共催事業。
13	11/22~ 27	第72回 県展宗像巡回展 【日本画・書】	美術	美術ギャラリー	200円	379人	△ 559,171	福岡県美術展覧会の巡回展。日本画・洋画・書・写真部門の入賞作品と宗像地区の入選者作品、また、同地域の福岡県美術協会会員出品作品を展示。
	11/28~ 12/4	第72回 県展宗像巡回展 【洋画・写真】	美術	美術ギャラリー	200円	441人		福岡県美術展覧会の巡回展。日本画・洋画・書・写真部門の入賞作品と宗像地区の入選者作品、また、同地域の福岡県美術協会会員出品作品を展示。
	12/1~4	第72回 県展宗像巡回展 【洋画・写真】	美術	美術ギャラリー	200円	316人		福岡県美術展覧会の巡回展。日本画・洋画・書・写真部門の入賞作品と宗像地区の入選者作品、また、同地域の福岡県美術協会会員出品作品を展示。
14	12/3	白石光隆「おしゃべり」コンサート ~ピアノでたどる冬景色~	音楽	ハーモニー	1,500円	171人	△ 1,506,470	ピアニスト・白石光隆による「おしゃべりコンサート」シリーズ第4弾。冬をテーマに美しいピアノの音色と軽妙なトークで魅了した。今回がシリーズ最終回。
15	1/22	精華女子高等学校吹奏楽部 「吹奏楽&マーチング」	音楽	イベント	1,500円	1,119人	1,104,137	全日本吹奏楽コンクールをはじめ、数々の賞を獲得している全国屈指の女子高バンド「精華女子高等学校吹奏楽部」による吹奏楽とマーチング。完売。
16	2/11	スーク室内オーケストラ&松田里奈	音楽	ハーモニー	4,000円	228人	△ 3,702,488	チェコの名門室内オーケストラと日本音コン1位の経歴を持つヴァイオリニスト・松田里奈による公演。演奏機会の少ないプログラムを宗像ユリックス限定で披露。
17	2/12	音楽の絵本~ズーランアン吹奏楽部~ 〈文化庁劇場・音楽堂等活性化事業〉	音楽	イベント	3,000円	1,440人	△ 1,704,619	西日本初登場、全国でもまだ1度しか公演されていない豪華な大編成吹奏楽。人気キャラクターだけでなく、レアなキャラクターも登場。
18	2/18	花形狂言 冬の大ツアー2017 〈文化庁劇場・音楽堂等活性化事業〉	古典	ハーモニー	2,000円	448人	△ 1,337,813	狂言の名家、京都・大蔵流茂山家の若手メンバーで結成されたHANAGATAが、古典芸能の枠を超え、新感覚の舞台を繰り広げた。
19	3/27	避難訓練落語会	その他	ハーモニー	無料	167人	△ 161,430	「もしも公演中に地震や火事が発生したら・・・？」予想がつかない災害に備え、お客様にも参加していただく避難訓練を実施。落語公演中に火災発生を想定し実施。

NO	月日	事業名	ジャンル	会場	主な 入場料金	入場者	収支差額 (円)	内容
■宗像ミアーレ音楽祭 助成:平成28年度文化庁・劇場音楽堂等活性化事業								
20	9/24	宗像ミアーレ音楽祭2016 「ミアーレ・ジュニア合唱団とアルケミストによるコンサート」	音楽	ハーモニー	500円	415人	△ 16,377,997	宗像市内の小学生約100名により結成されたミアーレ・ジュニア合唱団による演奏。今年はスペシャルゲストにアルケミストを招き、ミアーレ・ジュニア合唱団との共演も実現した。
21	9/24	宗像ミアーレ音楽祭2016 「ミアーレ吹奏楽団300人コンサート スペシャルゲスト:ブラック・ボトム・プラス・バンド」	音楽	イベント	500円	1,006人		スペシャルゲストにブラック・ボトム・プラス・バンドを迎え、宗像市・福津市の全中学吹奏楽部、宗像市の社会人吹奏楽団、ユリックス・ジュニアプラスが大集合し、大迫力の演奏を届けた。
22	9/24	宗像ミアーレ音楽祭2016 「ミアーレ・キッズ・プログラム」(全2回)	音楽	美術ギャラリー	親子ペア 500円	109人		午前は劇団アフリカによるアフリカの民族楽器、歌、ダンス、午後はミアーレ・ジュニア合唱団とも共演したアルケミストが親子で楽しめるコンサートを行った。
23	9/24～ 25	宗像ミアーレ音楽祭2016 市民ステージ	音楽	ホワイエ 中庭 古墳広場	無料	ホワイエ845人、 中庭533人、 古墳広場1000人		アマチュア演奏家による演奏。ジュニアの演奏家も交え、合唱、ピアノ、リコーダーなど、バラエティ豊かな音楽を届けた。古墳広場では、トワイライトピアライブも開催。
24	9/24～ 25	宗像ミアーレ音楽祭2016 「九響と散策する名曲の小径」(2公演)	音楽	ハーモニー	各日4,000円 九響2日通し券7,500円 九響&楽所券7,500円	780人		世界で活躍する指揮者・飯森範親、ソリストに人気・実力ともにトップクラスの横山幸雄(Pf.)を迎え、九州交響楽団によるクラシックの名曲をお届けした。
25	9/25	宗像ミアーレ音楽祭2016 「東京楽所」	音楽	イベント	4,000円	680人		世界最古のオーケストラ「日本雅楽」の響きを、宮内庁式部職楽部のメンバーを主体に創設された東京楽所が演奏。管弦と舞楽の2部構成。
26	9/25	宗像ミアーレ音楽祭2016 「楽器で遊ぼう!音のミュージアム」	音楽	美術ギャラリー他	無料	3,523人		市内の音楽団体、学生の協力により、管楽器、弦楽器、雅楽器までさまざまな楽器体験ができる。昨年度に引き続きスタンプラリーも開催。

■いきいき出前コンサート 助成:平成28年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業

27～ 122	通年	いきいき出前コンサート	音楽	市内各所	無料	13,777人	△ 4,200,803	音楽祭の併催事業として、市内96ヶ所出張コンサートを開催。※詳細は別紙参照
------------	----	-------------	----	------	----	---------	-------------	---------------------------------------

■ワークショップ

123	4/9	三船優子音楽講座	音楽	リハーサル室	500円	60人	△ 51,640	世界で活躍するピアニスト・三船優子が、6月のモスクワ・ソロイツ合奏団との共演に先駆け、音楽講座を開催。ピアノ演奏のほかに、ロシア音楽の魅力などについて語った。午前・午後2回開催。
124	5/21	久原deクバーラ!	その他	多目的広場	100円	37人	△ 46,363	マダガスカルの鬼ごっこ「クバーラ」を久原で体験。海外青年協力隊経験者による、海外の文化・生活についての出張授業も行った。
125	5/22	みんなでロシアを感じよう! ロシアンワークショップ	その他	美術工芸室	1,300円	20人	△ 11,890	6/5「三船優子&モスクワ・ソロイツ」公演に先駆け、ロシアについてさらに深く知ってほしいとの思いから開催したワークショップ。マトリョーシカの絵付け体験、ロシアの食文化についても知った。
-	6/26	音楽ワークショップ ジャジャジャジャーンを探せ!	その他	リハーサル室	500円	-	-	九州交響楽団の弦楽器奏者による、子ども向けの音楽ワークショップ。ベートーヴェンの交響曲「運命」の秘密に迫る。(※出演者の体調不良のため中止。)
126	7/30	九管ワークショップ 歌うホース編	音楽	リハーサル室	500円	40人	△ 249,980	九州管楽合奏団のサクソフォン奏者4名によるワークショップ。サクソフォンの成り立ちなどを学ぶほか、ホースを使って手作りのサクソフォンを作成した。午前・午後2回開催。
127	8/7	雅楽鑑賞講座	音楽	展示室	500円	72人	△ 952,850	「宗像ミアーレ音楽祭」東京楽所公演に先駆け、日本音楽のルーツである雅楽の歴史と魅力を紹介する講座。
128	10/16	音楽講座 ～ピアノの話をしませんか?～第1回	音楽	展示室	500円	13人	△ 118,248	ピアノの誕生から現在に至るまでの歴史や、ピアノ本体の構造など、他では聞くことができないピアノよもやま話を、ピアニスト・白石光隆が生演奏を交えて解説。
129～ 130	10/16	ピアノ謎解き音楽講座	音楽	展示室	500円	36人		ピアノの中身や音が鳴る仕組みを、小学生とその家族むけに楽しく解き明かす音楽講座。体の動きとピアノの関係などを、ピアニスト・白石光隆が実践・演奏を交えて解説した。
131	11/13	音楽講座 ～ピアノの話をしませんか?～第2回	音楽	ハーモニー	500円	50人		ピアニスト・白石光隆がお送りする、想像力をかきたてられる名曲とともにドビュッシーの人生について語る講座。全2回。
132～ 146	11月	小学校4年生芸術鑑賞事業事前レク	音楽	各小学校	無料	944人	-	小学校4年生芸術鑑賞モデル事業のコンサート開催前に、楽団員が各学校に出向き、事前に演奏会の楽しみ方やマナーについてレクチャーを実施。
147	2/4	大きなクスの木の下で美術館展 関連ワークショップ 「大好きな人に絵手紙を出そう!」	美術	美術工芸室	500円	7人	-	ハガキとクレヨンを手作りし、絵手紙を制作。
148	2/12	大きなクスの木の下で美術館展 関連ワークショップ 「ほんほんどんぐり」	美術	美術工芸室	500円	4人	-	カラフルな毛糸で飾り付け、実らせるほんほんどんぐりの制作

■SO-QN プロジェクト 助成:(一財)地域創造

149～ 160	夏季と 冬季に 実施	ホップ・ステップ・クリニック	音楽	市内 中学校	無料	318人	△ 783,007	市内中学校吹奏楽部へ年2回、九州管楽合奏団のメンバーを派遣(各パート1名合計8名)し、奏法指導と合奏指導を行う。地域の大切な文化資源である吹奏楽部活動の活性化を通じたまちづくりへの貢献を視野に入れた活動とする。 中央中(8/3・1/7)、河東中(8/8・12/17)、自由ヶ丘(8/9・12/23)、玄海中(8/10・12/18)、日の里中(8/26・12/27)、城山中(8/31・12/26) ※中央中には宗像中を含む
161	3月25日	ホップ・ステップコンサート	音楽	イベント	1,500円	230人		宗像・福津市内中学校、高校限定の楽器クリニック付きコンサート。九州管楽合奏団が吹奏楽コンクール課題曲を演奏。コンクールに向けた動機付けの場となった。
162	通年	ユリックス ジュニアプラス	音楽	ハーモニー	無料	-	△ 1,063,780	宗像市内小学校3年生以上を条件に募集し、平成28年度は32名の団員となる。毎週火曜日に練習。(指導者:丸田友博) 音楽祭や吹奏楽祭などで演奏を披露。
	3/26 3/30	第3期 ユリックス ジュニアプラス 卒団演奏会・卒団式	音楽	ハーモニー	無料	230人		3月で退団する団員を送り出すための卒団式と卒団演奏会を開催。一般開放を実施。

NO	月日	事業名	ジャンル	会場	主な 入場料金	入場者	収支差額 (円)	内容
163～ 177	毎月 1回 開催	名画シアター 15作品を上映	映画	ハーモニー	会員700円 一般900円	5,274	△ 5,087,311	【上映作品】(上映日) ・「アゲイン」(4/21) ・「ひつじのショー」(5/5) ・「黄金のアデーレ」(5/19) ・「海難1890」(6/25) ・「母と暮らせば」(7/21) ・「はなちゃんのみそ汁」(7/30) ・「百日紅」(8/20) ・「家族はつらいよ」(8/30) ・「ボーイソプラノ」(9/30) ・「海よりもまだ深く」(10/29) ・「殿、利息でござる」(11/23) ・「の・ようなもの のようなもの」(12/20) ・「ロイヤル・ナイト」(1/27) ・「お父さんと伊藤さん」(2/19) ・「続・深夜食堂」(3/22)
178	通年	ロビーライブ	音楽	ホワイエ			△ 60,860	名画シアター開催時に上映の合間を利用して、応募いただいた演奏者によるコンサートを開催。

■宗像市との共催事業

179	6/11～ 12	むなかた芸術祭	その他	展示室	無料	1,500人	△ 233,950	美術品展示・華道展示・盆栽展示
	6/11～ 12	むなかた芸術祭	その他	ハーモニー	500円	900人		舞台公演 (舞踊・三曲・吟剣詩舞道・民謡・音楽)
	6/12	むなかた芸術祭	その他	茶室大和室	300円	200人		茶道 薄茶席(表千家)300円 早茶席(裏千家)200円
180	7/3	第36回 むなかた吹奏楽祭	音楽	イベント	無料	2,000人	△ 168,930	宗像市および近隣の中学校・高校・一般の吹奏楽団体による演奏会。
181	10/1～2	第36回 むなかた文化祭	その他	展示室	無料	200人	△ 828,195	市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表。 一般展示部門(陶芸、押し花、エッグアート)
	10/2	第36回 むなかた文化祭	その他	ハーモニー	無料	660人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表。 一般舞台部門(大正琴、フラダンス、ダンス)
	10/10	第36回 むなかた文化祭	その他	ハーモニー	無料	150人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表。 舞台部門(謡曲、民謡、吟剣詩舞道)
	10/28～ 30	第36回 むなかた文化祭	その他	展示室	無料	300人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表。 展示部門(美術)
	10/30	第36回 むなかた文化祭	その他	ハーモニー	無料	150人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表。 舞台部門(舞踊)
	11/5	第36回 むなかた文化祭 「箏・三弦・尺八」演奏会	その他	ハーモニー	無料	100人		三曲協会が日ごろの成果を発表。
	11/5～6	第36回 むなかた文化祭 「盆栽・華道」	その他	美術ギャラリー	無料	400人		盆栽や華道作品の展示。
11/6	第36回 むなかた文化祭 秋の茶会	その他	茶室・大和室	薄茶席500円 早茶席300円	80人	茶道協会によるお茶のおもてなし。		
182	11/20	第18回 むなかたこども芸術祭	その他	ハーモニー	高校生以上 500円	1,040人	△ 480,280	宗像市内で活動するダンスや演劇などのグループに所属する子どもたちが、日ごろの成果を発表。 今年度より、2部構成で実施。
183	11/6	宗像市音楽協会40周年記念 むなかた音楽祭2016	その他	ハーモニー	無料	600人	—	音楽協会が日ごろの成果を発表。

■宗像市からの受託事業

184	11/18	ユリックスでの芸術鑑賞事業 九州管楽合奏団演奏会	音楽	ハーモニー	無料	978人	—	宗像市内の小学校4年生を対象に実施している芸術鑑賞事業。児童は公演前までに各学校で鑑賞時のマナーなどのレクチャーを受けて鑑賞した。
185	2/4～ 2/19	大きなクスの木の下で美術館展vol.8	美術	展示室	300円	621人	—	宗像の大きなクスの木の下で育った中村研一・琢二兄弟の作品と、宗像に縁の作家たちの作品も展示。開催期間中の土・日曜日は、ワークショップやギャラリートークを開催。
186	年2回	文化芸術の他分野活用	演劇	福祉施設	無料	41人	—	NPO法人アートサポートふくおかの古賀弥生をコーディネーターに迎え、演劇とダンスの手法による福祉施設へのアプローチを実験的に実施。

平成28年度 いきいき出前コンサート一覧 96ヶ所・13,777人へ「生の音」をお届け

すくすくコンサート・・・未就園児とその母親を対象としたコンサート・・・実施回数 11回

回数	公演日	編成	実施場所	実施時間	総入場者数
1	4月20日	村岡慈子(Perc.) & 岩崎雅子(Mar.)	宗像ユリックス	演奏45分・交流会30分	48
2	5月25日	宮原絵理(Vl.) & 馬渡英子(Pf.)	宗像ユリックス	10:30~11:15	60
3	6月23日	藤松純子(Vl.) & 高松聡美(Perc.)	池野コミセン	10:30~11:15	60
4	9月8日	さえきまゆこ(うた) & みっしー(Pf.)	玄海コミセン	10:30~11:15	66
5	10月11日	中西久美(Fl.) & 岡直美(Pf.)	自由ヶ丘コミセン	10:30~11:15	92
6	11月10日	藤松純子(Vl.) & 高松聡美(Perc.)	吉武コミセン	10:30~11:15	40
7	12月13日	村岡慈子(Perc.) & 岩崎雅子(Mar.)	河東コミセン	10:30~11:15	60
8	12月22日	村岡慈子(Perc.) & 岩崎雅子(Mar.)	赤間コミセン	10:30~11:15	70
9	1月20日	宮原絵理(Vn.) & 下村英子(Pf.)	宗像ユリックス	演奏45分・交流会30分	60
10	2月17日	中西久美(Fl.) & 岡直美(Pf.)	宗像ユリックス	10:30~11:15	82
11	3月30日	さえきまゆこ(うた) & みっしー(Pf.)	東郷コミセン	10:30~11:15	90

市内幼稚園・保育園全国へ・・・実施回数 23回

12	5月24日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	第二赤間保育園	10:00~10:50	130
13	5月27日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	福岡教育大学附属幼稚園	10:00~10:50	80
14	6月1日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	日の里幼稚園	10:00~10:50	230
15	6月14日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	恵愛保育園	10:00~10:50	200
16	6月14日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	野ばら第二保育園	15:00~15:50	150
17	6月15日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	西海保育園	10:00~10:50	115
18	6月15日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	野ばら保育園	15:00~15:50	100
19	6月17日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	東海大学付属自由ヶ丘幼稚園	10:00~10:50	300
20	6月17日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	日の里西保育園	15:00~15:50	140
21	6月21日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	かとう保育園	10:00~10:50	105
22	6月22日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	赤間くるみ幼稚園	10:10~11:00	240
23	6月24日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	浄徳寺幼稚園	10:00~10:50	340
24	6月24日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	赤間保育園	15:00~15:50	115
25	6月28日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	ひかり幼稚園	10:00~10:50	125
26	6月29日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	東郷信愛幼稚園	10:40~11:30	350
27	6月29日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	玄海風の子保育園	15:00~15:50	100
28	7月6日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	玄海ゆりの樹幼稚園	10:30~11:20	330
29	7月6日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	地島ゆりの樹幼稚園	13:00~13:50	20
30	7月8日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	日の里東保育園	10:00~10:50	110
31	7月8日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	平等寺保育園	15:00~15:50	110
32	7月13日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	博多のびっこ幼稚園	11:00~11:50	320
33	11月25日	九州管楽合奏団 木管・打楽器五重奏	大島へき地保育所	15:00~15:50	30
34	12月24日	村岡慈子(Perc.) & 岩崎雅子(Mar.)	みつぼし幼保園	18:00~18:45	70

市内小学校全校へ・・・実施回数 18回

35	5月10日	九州交響楽団 弦楽五重奏	日の里東小学校	9:45~10:30	230
36	5月10日	九州交響楽団 弦楽五重奏	日の里西小学校	14:15~15:00	330
37	5月17日	九州交響楽団 弦楽四重奏	赤間西小学校	9:45~10:30	450
38	5月17日	九州交響楽団 弦楽四重奏	吉武小学校	14:15~15:00	120
39	5月18日	九州交響楽団 弦楽五重奏	東郷小学校	9:45~10:30	480
40	5月18日	九州交響楽団 弦楽五重奏	南郷小学校	14:15~15:00	200
41	5月31日	九州交響楽団 弦楽四重奏	赤間小学校(1~3年)	9:40~10:25	400
42	5月31日	九州交響楽団 弦楽四重奏	赤間小学校(4~6年)	14:05~14:50	500
43	7月4日	九州交響楽団 弦楽四重奏+フルート	自由ヶ丘南小学校	9:40~10:25	330
44	7月4日	九州交響楽団 弦楽四重奏+フルート	自由ヶ丘小学校	14:10~14:55	320
45	7月7日	九州交響楽団 弦楽四重奏+フルート	玄海小学校	9:45~10:30	90
46	7月7日	九州交響楽団 弦楽四重奏+フルート	玄海東小学校	14:10~14:55	160
47	7月8日	九州交響楽団 弦楽四重奏+フルート	河東小学校	9:55~10:40	550
48	7月8日	九州交響楽団 弦楽四重奏+フルート	河東西小学校	14:05~14:50	400
49	7月11日	九州交響楽団 弦楽四重奏+フルート	地島小学校	13:00~13:45	30
50	9月15日	九州交響楽団 弦楽四重奏+フルート	大島小学校	14:20~15:05	50
51	11月24日	福岡教育大学	玄海東小学校	9:40~10:25	20
52	11月24日	福岡教育大学	玄海東小学校	10:40~11:25	30

福祉施設・病院へ・・・実施回数 22回

回数	公演日	編成	実施場所	実施時間	総入場者数
53	7月7日	二羽正行(Pf.)・松木陽介(Sax)	さわやか むなかたのもり	10:30~11:20	31
54	7月7日	二羽正行(Pf.)・松木陽介(Sax)	通所介護 ライズ	15:30~16:15	48
55	8月24日	持松朋世(Sop)・山本佳代子(Pf.)	宗像なごみ苑	11:00~11:30	45
56	8月24日	持松朋世(Sop)・山本佳代子(Pf.)	宗寿園デイサービスセンター暖々	14:00~14:30	50
57	9月14日	二羽正行(Pf.)・松木陽介(Sax)	はるかぜの郷		40
58	9月16日	ikuri(二胡&Perc.&Pf.)	宗像コスモス会ひだまり	14:00~14:45	30
59	9月27日	緒方愛子(Vn.)・小林まゆみ(Vcl.)	宗像第二わかば苑	10:30~11:15	40
60	9月27日	緒方愛子(Vn.)・小林まゆみ(Vcl.)	casa日の里デイサービス	14:00~14:45	35
61	9月28日	緒方愛子(Vn.)・松本さくら(Vn.)	起生会 アシストワークセンター	10:45~11:30	10
62	9月28日	緒方愛子(Vn.)・松本さくら(Vn.)	玄海さつきの杜	13:45~14:30	30
63	9月29日	緒方愛子(Vn.)・松本さくら(Vn.)	ラディアむなかた	10:30~11:15	30
64	9月29日	緒方愛子(Vn.)・松本さくら(Vn.)	ケアハウス岬	14:15~15:00	40
65	10月17日	白石光隆(Pf)	城山庵	10:45~11:30	53
66	10月17日	白石光隆(Pf)	シャングリリア宗像	14:30~15:15	43
67	11月14日	白石光隆(Pf)	緑ヶ丘学園	10:30~11:30	65
68	12月15日	緒方愛子(Vn.)・小林真裕美(Vcl.)	ゆいまーる	10:30~11:15	30
69	12月15日	緒方愛子(Vn.)・小林真裕美(Vcl.)	ケアポート玄海	14:00~14:45	60
70	12月16日	緒方愛子(Vn.)・壇 遼(Gt.)	ハイマート杏	10:30~11:15	30
71	12月16日	緒方愛子(Vn.)・壇 遼(Gt.)	宗像アコール	14:00~14:45	40
72	1月8日	山崎箏山(尺八) & 宮本直美(箏)	カーサフェリーチェ	14:00~14:45	43
73	1月14日	山崎箏山(尺八) & 宮本直美(箏)	ケアハウスむなかた	10:00~10:45	20
74	3月5日	ユリックス・ジュニアプラス6年生	ライフステイむなかた		60

まちかどへ・・・実施回数 15回

75	4月2日	村岡慈子・岩崎雅子・若菜陽子(Perc.)	岬地区コミュニティセンター	11:00~11:45	50
76	4月10日	三船優子(Pf.)	日の里地区コミュニティセンター	10:30~11:15	40
77	4月10日	三船優子(Pf.)	赤間西地区コミュニティセンター	14:00~14:45	40
78	9月17日	ikuri(二胡&Perc.&Pf.)	道の駅むなかた	13:00~13:50	70
79	10月15日	緒方愛子 & 窪田脩子 & 永野紗佑里(VI&Pf&V)	道の駅むなかた	13:00~13:50	92
80	11月5日	轟かおり(Vo.) & 石川雄一(Gt.)	池野コミセン	14:00~15:30	54
81	11月14日	白石光隆(Pf)	宗像大社	15:00~16:00	76
82	12月17日	矢田イサオ(Pf)/近藤壮起(Ts)/森しのぶ(B)	道の駅むなかた	13:00~13:50	86
83	12月18日	九管金管五重奏(宗像学園コンサート)	メイトム(東郷・南郷)		150
84	12月20日	緒方愛子(VI) & 榎本圭(Pf)	自由ヶ丘コミセン	13:30~14:30	95
85	1月8日	山崎箏山(尺八) & 宮本直美(箏)	河東コミセン	10:00~11:00	52
86	1月14日	山崎箏山(尺八) & 宮本直美(箏)	道の駅むなかた	13:00~13:50	50
87	2月11日	緒方愛子(VI.)・古賀美代子(Pf.)	赤間西コミセン	14:00~14:45	80
88	2月18日	工藤真菜 & みやざき都	道の駅むなかた	13:00~13:50	94
89	3月18日	轟かおり(Vo.) & 石川雄一(Gt.)	道の駅むなかた	13:00~13:50	100

市内小学校全校へ・・・実施回数 7回

90		ブラックボトムプラスバンド	河東中学校		559
91		ブラックボトムプラスバンド	城山中学校		699
92		ブラックボトムプラスバンド	中央中学校		352
93		ブラックボトムプラスバンド	玄海中学校		122
94		ブラックボトムプラスバンド	大島中学校		16
95		ブラックボトムプラスバンド	自由ヶ丘中学校		464
96		ブラックボトムプラスバンド	日の里中学校		335

関連事業として、東郷と南郷コミセンの協働事業として宗像学園を対象として九管金管五重奏を実施した。会場はメイトムで入場者数は150人

総実施回数	96回
総入場者数	13,777人

公2「文化芸術振興事業（プラネタリウム運営事業）」

プラネタリウム総括

日本プラネタリウム協議会による全国のプラネタリウム館への調査によるランキングでは、中規模館の部門において全国4位の来場者数となっている（2015年度調査における集計）。設置自治体の人口に対する来場数としては全国トップクラスになっている。

平成28年度のプラネタリウムの来場者数は32,225人で、前年度より約4,000人増となり、リニューアルを行った平成23年度に次ぐ人数を記録した。3種類ある一般向けのプログラムでは、いずれも8～21%増となった。団体での利用者数は前年度比5%増となった。また、通年でプラネタリウムの投影回数は1,200回を数え、こちらは過去最高となった。

来場者や投影回数の増加に伴い、プログラム制作時間の確保や人員配置が課題となっている。

●プラネタリウムプログラム

こども向けプログラム「ほしぞらクレヨン★」では、星空へのお絵描きやクイズ、ショートストーリーを季節に合わせて内容を変更し、来場者がいつも違った内容を楽しめる仕掛けが好評で、リピーターが多いのが特徴である。今年度はショートストーリーの「天の川のおはなし」の1作品と宇宙旅行のシーン、クイズなどを新たにオリジナルで制作した。

おとな向けプログラムでは「月から見た地球」「火星と土星とアンタレス」「太陽 -THE SUN-」と各天体に焦点をあてた番組や、時代を超えた星空を再現する「平安時代の星空」を制作した。

通年で実施している「リラクセーションプログラム」は、美しい映像や星空・音楽が好評で、安定した集客となっている。一方で、3年目を迎えた夜間投影は各回平均7人の来場数で伸び悩んでいる。

また、3月10・11日には仙台市天文台制作の震災特別番組「星空とともに」を特別プログラムとして施した。テレビ・ラジオ・新聞などでも取り上げられ、4回の上映で163人の来場者があった。

●学校団体向け学習プログラム

学習プログラムとして、小学校・中学校向けの各プログラム（4種類）を実施し、前年度比約10%増の来場者数となった。また、市内学校団体の利用状況は15校中13校（前年比+1）で、昨年より240人増の917人の来場者数であった。主なターゲットとしている市内小学校第4学年に限れば児童数の74%の来場があったことになる。大型校である赤間小学校が5年ぶりに利用したことが大きな要因となっている。

●ボランティアスタッフの活動の支援

ボランティアスタッフ（ほしぞらスタッフ）は44人の登録があり、観望会「ほしぞらウォッチング」を始めとした事業の企画・運営・補助を担っていただいている。今年度は3年ぶりにクリスマス番組の新作を制作することができ、前年比36%増の来場者となり大変好評であった。

●その他活動

今年度で3期目となった小学生向けの講座「ほしぞら友の会」では、市内外の22人の小学生（4～6年生）が参加し、月1回の講座・工作・観察を行った。12回の講座を実施し、延べ265人の参加数となった。科学を担う施設として、小学生に対する講座を今後も継続していきたい。

プラネタリウム番組

<平成 28 年度のプログラム>

区分	プログラム内容	来場者	実施期間
おとな向け	「月から見た地球」	1,949 人	4～6 月
	「火星と土星とアンタレス」	3,480 人	7～9 月
	「平安時代の星空」	1,458 人	10～12 月
	「太陽 -THE SUN-」	2,072 人	1～3 月
こども向け ほしぞら倶楽部★	「太陽さんと雨雲さん」	2,997 人	4～6 月
	「天の川のおはなし」	5,489 人	7・8 月
	「かぐやひめ」	3,194 人	9～11 月
	「クリスマスのおくりもの」	1,150 人	12 月
	「うさぎ座おはなし」	3,127 人	1～3 月
リラクゼーション	「Starry Music ～image を聴きながら～」	3,038 人	通年
学習	小学3年生プログラム 小学4年生プログラム 小学6年生プログラム 中学3年生プログラム	7件 220人 59件 2,653人 1件 14人 2件 40人	通年

第3期ほしぞら友の会



ボランティアの活動風景 (Xmas 番組録音)



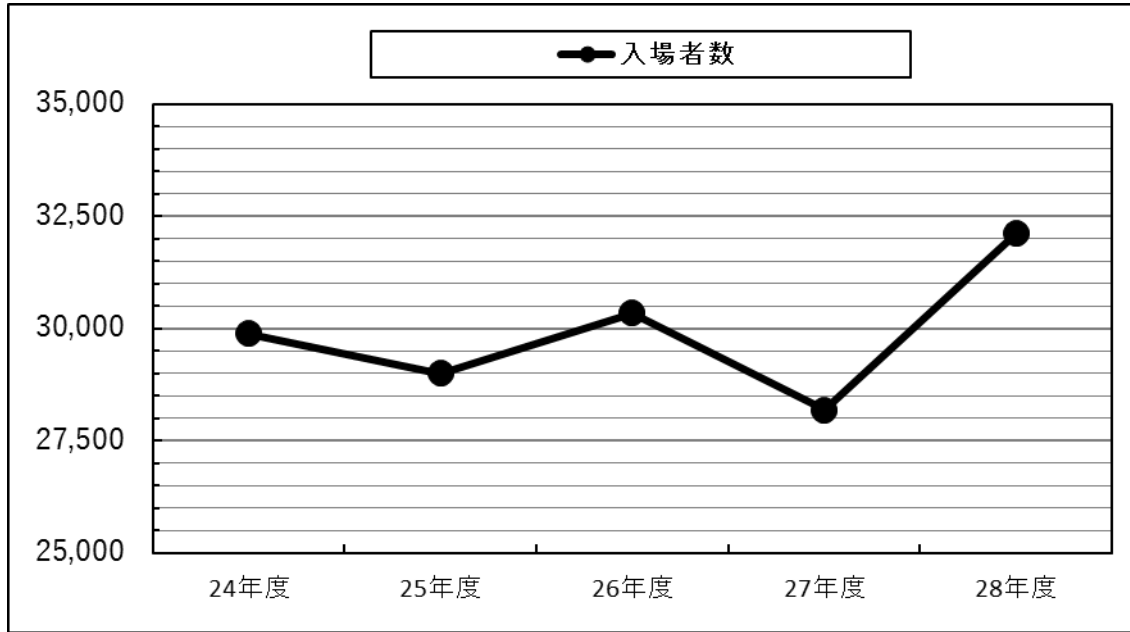
観望会「ほしぞらウォッチング」



<入場者数の推移>

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
入場者数	29,887	29,005	30,345	28,186	32,114
対前年比	77.7%	97.0%	104.6%	92.9%	113.9%
対24年度比	100.0%	97.0%	101.5%	94.3%	107.5%

※観望会等の野外を除く



<イベント実施状況>

区分	イベント名	実施日	参加者人数
1	講座 ほしぞら友の会第1回「オリエンテーション」	4月16日	25人
2	講座 ほしぞら友の会第2回「プラネタリウムのしくみ」	5月21日	17人
3	講座 ほしぞら友の会第3回「望遠鏡工作」	6月18日	25人
4	講座 ほしぞら友の会第4回「月の観察」	7月20日	30人
5	講座 ほしぞら友の会第5回「流れ星について」	8月29日	28人
6	講座 ほしぞら友の会第6回「ペットボトルロケット打上げ」	9月17日	26人
7	講座 ほしぞら友の会第7回「太陽の観察」	10月7日	20人
8	講座 ほしぞら友の会第8回「火薬ロケット工作」	11月19日	20人
9	講座 ほしぞら友の会第9回「火薬ロケット打上げ」	12月22日	22人
10	講座 ほしぞら友の会第10回「惑星について」	1月21日	16人
11	講座 ほしぞら友の会第11回「日時計工作」	2月18日	18人
12	講座 ほしぞら友の会第12回「星の一生」	3月18日	18人
	合計		265人

<観望会「ほしぞらウォッチング」>

	実施日	内容	解説	天体観望
1	5月7日(土)	春の星空・木星	107人	190人
2	6月18日(土)	太陽	65人	90人
3	8月29日(土)	火星・土星・アンタレス	119人	140人
4	9月17日(土)	お月見	64人	中止
5	1月28日(土)	火星・天王星・秋冬の天体	—	50人
6	3月25日(土)	火星・冬～春の星空	45人	60人
		合計	400人	530人

※「ほしぞらスタンプカード」を実施しH28年は3～9月の5回の観望会が対象。

H28年は金賞（パーフェクト5回参加）2人・銀賞（4回参加）15人・銅賞（3回参加）27人

<出張観望会・出前講座>

	実施日	団体名	参加人数
1	7月9日(土)	福岡県マリンスポーツ実行委員会（講座・市外）	37人
2	7月16日(土)	福岡市中央区当仁公民館（講座・市外）	40人
3	7月21日(木)	古賀市エコロの森（工作教室・市外）	28人
4	7月23日(土)	福岡県マリンスポーツ実行委員会（講座・市外）	12人
5	7月24日(日)	宮若市水原公民館（観望会・市内）	58人
6	7月31日(日)	岡垣サンリーアイ（観望会・市外）	38人
7	8月7日(日)	ボーイスカウト古賀1団（観望会・市内）	22人
8	8月19日(金)	ふれあいの森総合公園（観望会・市内）	90人
9	10月7日(金)	宮若市山口小学校PTA（観望会・市内）	67人
10	10月8日(土)	北斗の水くみ観望会（観望会・市内）	90人
11	10月9日(日)	日の里西小学校（観望会・市内）	90人
12	11月12日(土)	北斗の水くみ観望会（観望会・市内）	71人
13	2月22日(水)	いせきんぐ宗像（観望会・市内）	31人
14	3月25日(月)	岡垣サンリーアイ（観望会・市外）	30人
		合計	704人

公3「健康増進事業（健康増進企画・体験事業）」

健康づくり事業

利用者に対する健康づくり運動・レクリエーションスポーツ・生涯スポーツの普及に努めた。

健康づくり事業のメイン事業であるユリックスウエルネスクラブとスイミングスクールでは、会員・受講者の健康維持増進・健康支援を行うとともに、会員の獲得・継続・利用促進に力を注いだ。

■ ウエルネスクラブ

健康づくり・体力づくりの推進及び施設利用の促進を目的とした「ユリックスウエルネスクラブ」は、今年度末会員数が251人となった。（前年度252人）

ウエルネスクラブの会員増に向けての施策として、宗像市の特定保健指導・積極的支援アクアドームプログラム、動機付け支援アクアドームプログラムを実施した。

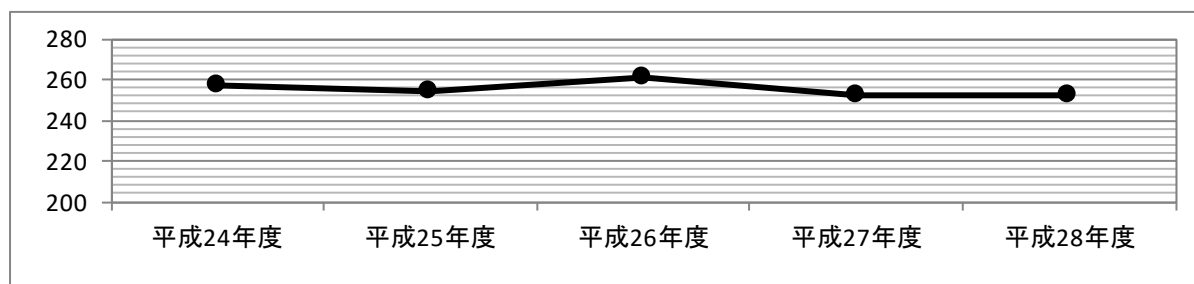
前年度に積極的支援の初回指導を終了し、本年度継続した対象者は3人であった（途中終了は1人）。本年度の積極的支援初回指導が終了したのは2人、6ヶ月のプログラムが終了したのは2人であった。最終計測までプログラムが終了していないのは0人で、途中終了が0人であった。

また、動機付け支援（1回のみ指導）は9人であった。

市検診の結果において、支援対象であり結果説明会に参加されなかった人へ電話勧奨を49件行った。特定健診結果相談会における「簡単な講義および運動指導」「アクアドーム積極的支援プログラム紹介」「アクアドームの施設紹介」を行う派遣指導を24件行った。

アクアドームは、ウエルネスクラブの会費が所得税の医療費控除対象になる、「指定運動療法施設」に認定されている。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ウエルネスクラブ会員数	257	254	261	252	251
対前年比	91.1%	98.8%	102.8%	96.6%	99.6%



■ スイミングスクール

ウエルネスクラブと並ぶ健康づくり推進事業のスイミングスクールについては、週1回コースを22クラス、週2回コースを1クラス、3ヵ月を1期として年間3期行った。受講申込者数は981人と前年度966人に比べ15人（前年比101.6%）増加となった。

利用者の中には10年間受講されている人もおり、今後は利用者の高いレベルに対応できるようにインストラクターの指導力向上に向けた取り組みが重要となってくる。泳法指導以外の「らくらく膝腰運動」や「水中ウォーク」などの教室で、高齢者やプールが苦手な人にも気軽に健康づくりのできる教室展開を図っている。

夏季ペアペアチャレンジ教室を7月、8月の計5回、土曜日9:00～10:00に実施し34人が参加した。スクール（ペアペアチャレンジ）からの参加者がほとんどであった。

夏季限定ウォーク&水中運動・チャレンジアクアを7月、8月の計9回、水曜日11:30～12:30に実施し181人が参加した。

夏休み初級水泳教室を定員人で7月、8月の計7回、木曜日12:00～13:00に実施し48人が参加した。

■ スタジオプログラム

エアロビクスは14,013人、前年比100.2%（前年13,988人）、スタジオレッスンは7,242人、前年比107.9%（前年6,712人）、スタジオ合計は24,219人、前年比97.1%（前年24,945人）と人数は726人減少した。

祝日プログラムは年間12回開催し、457人が参加した。

ストレッチショートプログラムは、モーニングストレッチ2,702人、ランチストレッチ1,473人、ディナーストレッチ424人の合計4,599人の利用があった。

アクアドームのような総合フィットネス施設におけるエアロ・ダンスプログラムは水泳・ジムトレーニングと同様に人気のある運動プログラムのひとつであり、女性層の取込みには欠かせないため、魅力ある教室を開催していきたい。

〔 栄養調理教室 〕

調理実習の「クッキングメイツ」は、年間256人の参加があった。前年の234人に比べ22人増加した。

コミュニティセンターでの調理教室「コミュ・クック」は、7月27日（水）（赤間西コミセン）15人の参加、テーマ「夏のおもてなしに！華やかハワイ料理」、3月23日（木）（河東コミセン）20人の参加、テーマ「春野菜たっぷりのヘルシーイタリアン」であった。

小学生と保護者が一緒に行う「夏休み冬休み親子クッキング」2回を実施した。

8月21日（日）9:00～12:00、メイトム宗像2階調理室、1組1,600円（1組中に子ども1人追加の場合、600円を追加料金とした）4組8人（追加0人）が参加した。テーマは「赤と緑?! 野菜を使った2色のカレーづくり教室」

12月4日（日）10:00～12:30、コミセン調理室、1組1,500円（1組中に子ども1人追加の場合、650円を追加料金とした）7組14人（追加2人）が参加した。テーマは「野菜をおいしく!カラフルなベジスイーツ作り教室」

「男のクッキング」は、定員15人で運動と食事の両面からの健康づくりを考え、調理と栄養に

ついて学ぶ、男性のみの調理実習である。男性の多くは自炊の習慣がなく食事の面からの健康づくりに関心をもっていない人が多いが、自炊で自己の健康管理ができるようになることが必要と考えられるため実施している。参加者は60代～80代である。計4回実施し58人の参加であった。

〔 手作り工房 〕

日本古来の食の伝統を若い世代へ伝えることや、食と運動のつながりを伝え、利用促進へとつなげることを目的とした。

第1回 4月 6日	「タケノコ掘り体験と料理教室」	12人
第2回 6月 18日	「魚さばき教室」	26人
第3回 9月 30日	「ゆず胡椒作り教室」	42人
第4回 1月 21日	「キムチ作り教室」	54人

スポーツイベント

南ゾーン各施設の利用促進とスポーツ・レクリエーションの振興のために各種のイベントを実施した。ほとんどが屋外イベントで天候などに左右されやすいが、中止ではなく延期で対応している。24時間EKIDENや12時間耐久スイムは、アクアドームの利用者を中心としたボランティア団体が大会運営をするなど市民参加型のイベントとして根づいている。

〔 第22回24時間EKIDEN 〕 (5月7日～8日)

実行委員会形式とし、ボランティア団体中心の大会運営となって好評であった。芝生広場の外周(850m)を1チーム(5人以上)で一本のタスキをリレーしながら、24時間(休憩自由)に走った距離を競う大会である。

有料参加は73チーム(1,646人:一般、1,237人 中・高校生、241人 小学生、168人)あり、前年度75チーム(1,703人)より2チーム少なく、参加者57人の減少で開催した。

当日は、義援金を募るイベントを行い、参加者が一体となり被災地を盛り上げることができた。熊本地震の影響で、2チームのキャンセルを認めた。

当日は、義援金を募るイベントを行い、参加者が一体となり被災地を盛り上げることができた。大会を通じて、義援金は「熊本震災に対する寄付金」「東日本大震災ふくしまこども寄付金」に寄付した。

〔 第28回ユリックスカップ・テニストーナメント 〕 (10月16日)

雨天の場合や参加者の負担などを考慮し、予選リーグと決勝トーナメントを1日で終了するためにペアの参加で開催した。

今大会は、当初定員としていた72ペアが埋らず、63ペア(男子Bクラス21ペア、Cクラス12ペア、女子Bクラス12ペア、Cクラス18ペア)、122人で大会を計画していたが、当日朝雨天のため中止を決定した。

〔 第25回12時間耐久スイム 〕 (11月12日～13日)

温水プールの営業時間外の夜間(22:00～10:00)を使い開催している。温水プールが7コースで35チームしか参加できないという制限はあるものの、九州各地から根強いリピーターが受付初

日から申込みのような人気のある大会である。

本年度は 33 チーム（鉄腕の部 10 チーム、エンジョイの部 23 チーム）有料参加者数：258 人であった。前年度は 247 人で、11 人多かった。

アクアドームでもウエルネス会員やスイミングスクールの教室受講生がチームをつくって参加し、日頃のトレーニングの成果を競技とは関係なく、楽しんでいる大会である。

[バスハイク]

仲間づくりをメインにした健康づくりセミナーと運動の実践そして食事と温泉を利用した休養という新しいタイプのトータル的な健康づくりの提案を行なうことで多くの市民に健康づくりを始めるきっかけとなることを目的とした。

第 31 回：日時：5 月 25 日（水）目的地：長崎県佐世保市

参加者 43 人（男性：7 人、女性：36 人）

第 32 回：日時：11 月 4 日（金）目的地：福岡県朝倉市

参加者 35 人（男性：6 人、女性：29 人）

[グラウンドゴルフ]

10 月 14 日（金）、宗像ユリックス芝生広場にて「第 6 回宗像ユリックスカップグラウンドゴルフ」を開催した。

144 人定員で募集した。600 円/人とし、133 人の参加があった。

[ウォーキングイベント]

健康づくり課作成のウォーキングマップの認知度を上げ、ウォーキングの楽しさや効果を知っていただくために行った。

開催日：11 月 18 日（金）9：30～11：30

参加費：210 円/人（飲み物、保険料込）参加人数 6 人

ルート：ウォーキングマップ V o 1 . 7 赤間地区コミュニティ「ふらり唐津街道赤間宿まちあるき」コース

開催日：3 月 23 日（木）9：00～12：00

参加費：210 円/人（飲み物、保険料込）参加人数 10 人

ルート：ウォーキングマップ V o 1 . 7 東郷地区コミュニティ「東郷遺跡巡り」コース

[ランニング練習会]

これからランニングを始めようとしている人、ランニング愛好者に対して、音楽を使用したピッチ走法、ランニングのための筋力トレーニング指導及び情報提供を行った。

参加者数は、計 248 人であった。昨年度の 224 人より 24 人参加者が多かった。

公3「健康増進事業（健康増進施設管理運営事業）」

アクアドーム

本年度も、①健康づくり拠点としての機能強化、②一般利用者の増加、③宗像市関連部署との連携強化を念頭に業務に取り組んだ。

第3期指定管理期間の3年目である本年度の年間利用者数は、204,219人（前年198,181人前年比103.0%）となった。

温水プールは、年間利用者数133,984人（前年比103.8%）、トレーニングジムは年間利用者数45,743人（前年比102.5%）、スタジオの年間利用者数24,492人（前年比100.3%）となった。

ウェルネスクラブ会員数は、40歳未満の入会者は18人で、総会員数は251人と1人減少した。また、芝生広場を活用した「グラウンドゴルフ」、調理実習の「男のクッキング」や「手作り工房」、ウォーキングバスハイク（春・秋）、ランニング練習会、健康づくり課作成のウォーキングマップを活用したイベントを企画し実施した。

スイミングスクールを実施していない7月8月に、「夏季限定ペアペアチャレンジ教室」「夏季限定ウォーク&水中運動・チャレンジアクア」「夏季限定水泳教室（初級クラス）」を実施した。

一般利用者の増加については、宗像3大学2高校の優待利用や、広報紙での告知強化などを積極的に行った。

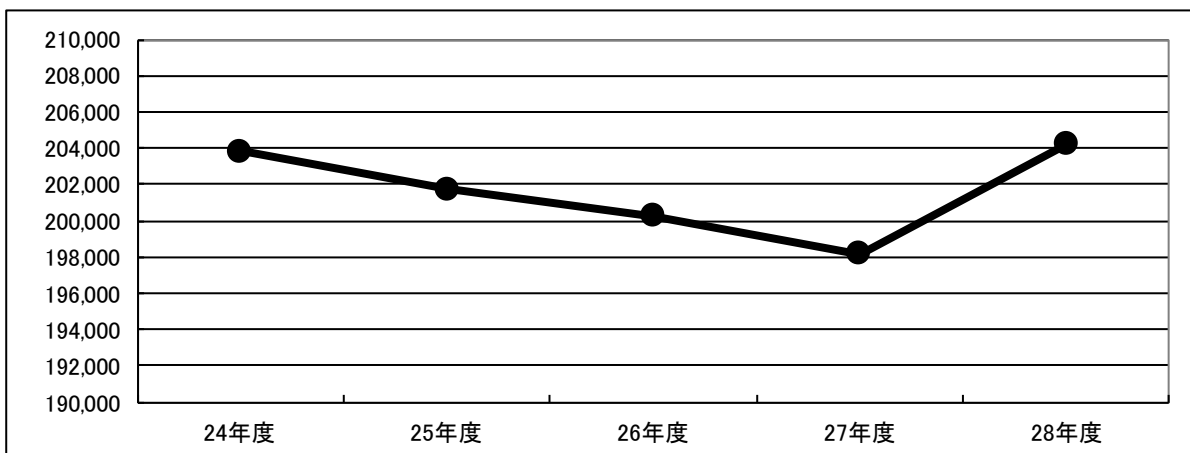
ゆ〜ゆ〜プールは、近郊の施設が閉鎖した影響と天候に恵まれたことから、68,089人（歴代3位）の入場人数であった。1日平均1,335人（歴代2位）であった。今年度は初めての試みとして、障がいのある方々にも「ゆ〜ゆ〜プール」を楽しんでいただけるように、7月2日に「障がい者開放日」を設定した。流水プールの水深を通常の110センチから85センチまで下げた上、プール内に入れる車いすを準備した。障がい者、介助者併せて31人が利用し、参加した方からは、「周りを気にせず楽しめる」と大変好評であった。

前年から引き続き、市健診の結果において支援対象であり結果説明会に参加されなかった人への電話勧奨、特定健診結果相談会における「簡単な講義および運動指導」「アクアドーム積極的支援プログラム紹介」「アクアドームの施設紹介」を行う派遣指導、特定保健指導の積極的支援および動機付け支援、介護予防事業（陸上、水中、栄養）、ウォーキングマップ作成を実施した。

【 アクアドーム利用者数 】

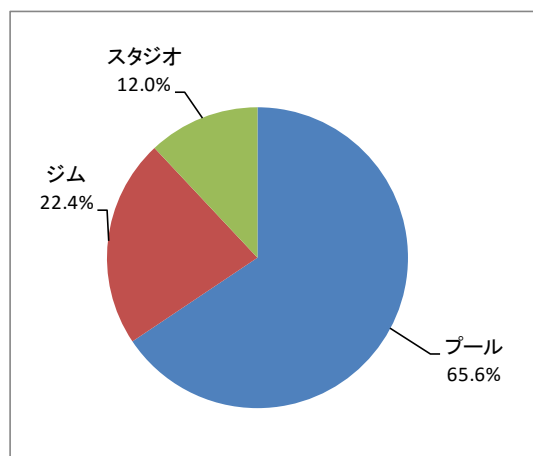
単位：人

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
入場者数	203,798	201,712	200,266	198,181	204,219
対前年比	101.2%	99.0%	99.3%	99.0%	103.0%
対24年比	100.0%	99.0%	98.3%	97.2%	100.2%



■ 施設別利用人数アクアドーム年間利用者数 204,219 人のうち、プール利用者は 133,984 人であり、アクアドーム全体の約 65.6%を占めた。

施設別に 27 年度と比較すると、プール利用者数 4,871 人増 (103.8%)、ジム利用者数 1,105 人増 (102.5%)、スタジオ利用者数 62 人増 (100.2%) であった。その結果、アクアドーム全体では 6,038 人増で 27 年度比 103.0%であった。



■ 利用種別状況

利用種別で見ると、プール利用者全体のうち個人・団体・回数券の利用割合は 18.1%、年間券は 40.7%であり、スイミングスクール・ウエルネスクラブ等の主催事業に係る利用は 43,694 人で全体の 32.6%となった。

トレーニングジム利用者の中では、ウエルネス会員の割合が 68.1%を占めた。

スタジオでは、宗像文化サークルを含めた一般利用 2,964 人(12.2%)、教室・レッスン・エアロビクス 21,255 人(87.8%)となった。

ゆ～ゆ～プール

本年度の営業は、7月3日と9、10日を先行営業し、通常営業は7月16日より8月31日の計51日間であった。また、7月2日に障がい者開放日を設定した。

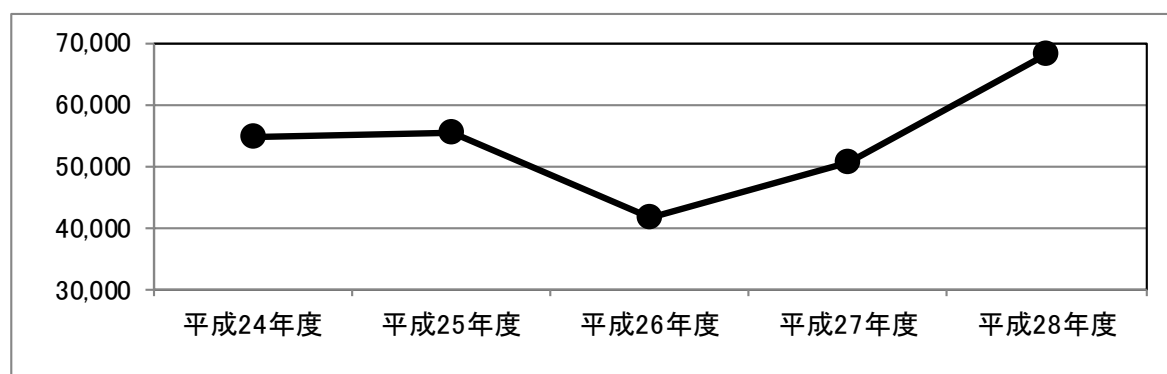
総入場者数は 68,089 人 (1 日平均約 1,335 人) で、前年度の 50,405 人 (営業日数 49 日間、1 日平均 1,050 人) と比べると 17,684 人 (35.1%) の増加であった。

本年も特別企画として平日 3 時以降の入場料を半額にする「ゆ～涼み割引」を実施した。

ゆ～涼み割引の入場者は 10,754 人 (1 日平均 358 人)、お弁当プラン 33 団体で利用者は 1,338 人、アクアヌードル貸出は 298 件であった。

(単位：人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	54,772	55,477	41,430	50,405	68,089
対前年比	107.7%	101.3%	74.7%	121.7%	135.1%



パットゴルフ場

本年度利用者数は4,157人で、前年度に比べて567人減少した。近年の減少傾向に歯止めをかける為に、毎週火曜日の「シニアデー」、毎週土曜午前中の「親子ペアデー」を継続して行なった。しかし、お客様への認知度はまだまだ低く、現時点では大きな増加につながっていない。29年度は積極的な広報活動による企画の浸透と月例会開催などでリピーターの育成をはかり、入場者増加傾向を維持していく。

[パットゴルフ利用者数]

(単位：人)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	5,487	4,738	5,062	4,724	4,157

その他屋外施設

多目的広場は、本館で多数の来館が予測されるイベントがあるときに、あらかじめ臨時駐車場として確保している。また、その他の利用としては、少年サッカークラブの練習などがある。

芝生広場・サーキットトレーニングコースは、市内だけでなく近郊の幼稚園・小中学校から遠足などで来園されている。土・日・祝日には家族連れの来園が多い。

パットゴルフ場隣りにあるわんぱく広場は、平日においても幼児を連れた多くの親子連れにとって憩いの場となっている。

プレイ広場では、ラジコンやスケートボードなどの利用がおこなわれている。

法人運営「組織・運営体制、財政運営」

全般／指定管理業務について

平成 28 年度は第三期指定管理の 3 年目であった。非公募で付託を受け、宗像市民の期待に応えるべく管理運営を続けてきた。

宗像ユリックスは、開館 28 年目を迎え施設の老朽化が目立ってきている事から各設備の点検や修理に努め、安全・安心な施設づくりを目指して日々の管理に努めた。

宗像市が掲げる「音楽のあふれるまち」づくりに沿って、宗像ミアレー音楽祭、アウトリーチ、ジュニアブラスなど世代に応じた活動を積極的に行った。また、南ゾーンを中心としたスポーツ・健康づくりについてもアクアドームの利用者が年間 20 万人を維持していることから、一定の評価を得ていると考える。

今後も宗像ユリックスの運営を通じ、宗像市の文化・スポーツ・健康づくりに貢献して行く。

運営体制

本年度の職員の人員体制としては、植栽及びインフォメーションのスタッフを充実し、運営体制の強化を図った。

適正な人材の確保のため、嘱託職員の雇用期限と臨時職員の賃金の見直しを実施した。財団の継続的な運営を図るため、今後の組織体制の改善に向けて検討を行っていく。

[職員数]

(単位:人)

	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末
財団職員	34	34	34	34	36
市派遣	2	2	1	1	1
中核	4	4	4	4	4
専任	3	4	5	5	5
嘱託	7	6	7	8	7
臨時	18	18	17	16	19
合計	34	34	34	34	36
対前年度比	91.9%	100.0%	100.0%	100.0%	105.9%
対 24 年度比	-	100.0%	100.0%	100.0%	105.9%

- | | |
|--------------|--|
| ・平成 25 年 4 月 | 第 2 期指定管理 (4 年目)、指定管理区域分割、
公益財団法人への移行 |
| ・平成 26 年 4 月 | 第 3 期指定管理 (1 年目) |
| ・平成 27 年 4 月 | 第 3 期指定管理 (2 年目) |
| ・平成 28 年 4 月 | 第 3 期指定管理 (3 年目) |

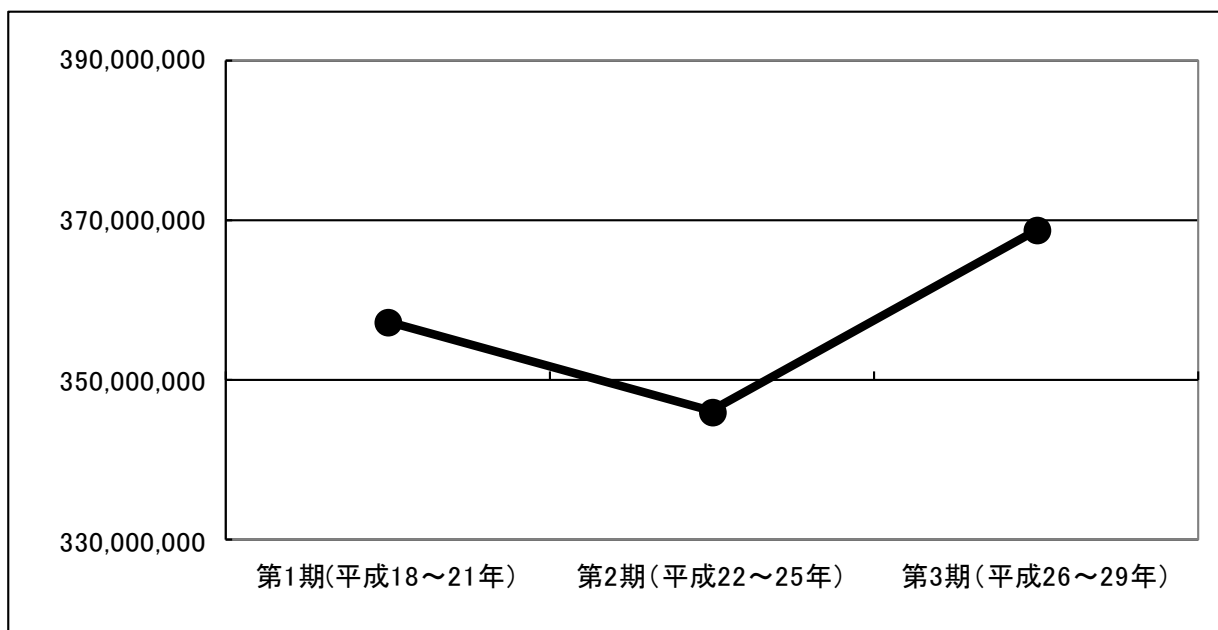
財政運営

本年度は、約 466 万円の黒字決算である。

収入においては、前年度との比較では、利用料金は、本館は約 594 万円の増収、南ゾーンのアクアドーム、ゆ〜ゆ〜プールについては天候の影響で約 1,087 万円の増収となった。さらに協賛金収益が約 118 万円、受託補助金が約 119 万円とそれぞれ増収となった。また、受託事業収入が約 165 万円の減収となった。

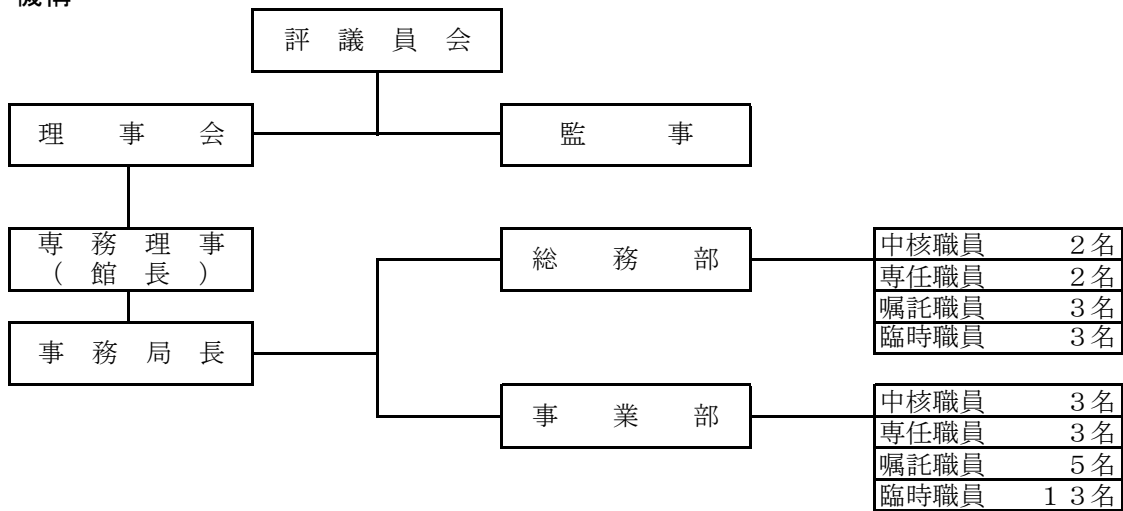
支出については、報酬が約 122 万円の増額、消耗品費約 295 万円、使用料賃借料約 160 万円の増額となった。また、修繕費については約 206 万円の減額となり、負担金も 202 万円の減額となった。

	第1期 (平成18~21年)	第2期 (平成22~25年)	第3期 (平成26~29年)
指定管理料	357,308,000	346,083,000	368,828,000
対第1期	-	96.9%	103.2%



(平成28年3月31日現在)

機構



職員体制 (34名)

職名	中核職員	専任職員	嘱託職員	臨時職員
人数	5名	5名	8名	16名

※中核職員には宗像市からの派遣出向職員1名を含む

役員の構成

評議員	理事	監事
5名	7名	2名

職名	氏名	職名
評議員	菊川 律子	放送大学 福岡学習センター所長
評議員	蔵野 八郎	前 株式会社電気ビル代表取締役社長
評議員	寺尾 慎一	国立大学法人福岡教育大学学長
評議員	久芳 昭文	宗像市副市長
評議員	山下 恵美子	元宗像市教育委員

理事長	立部 祐道	僧侶 (鎮国寺名誉住職)
専務理事	松永 年生	宗像ユリックス館長
理事	福崎 常喜	宗像市市民協働環境部長
理事	福本 義雄	宗像市社会福祉協議会会長 宗像地区事務組合水道事業運営委員会副会長
理事	池山 喜美子	元(社)全国消費生活相談員協会理事
理事	森 千鶴子	フリーライター、福岡教育大学非常勤講師
理事	江口 祐司	日本赤十字九州国際看護大学 事務局長

監事	長井 賢祐	元福岡県経営者協会専務理事
監事	堤 一成	宗像市経営企画部 財政課長